

タイトル	著者名	内容紹介
<b>世界はきみが思うより</b>	<b>寺地はるな</b>	あるきっかけで他人が作った料理を受け付けなくなってしまった冬真は、同級生の時枝くん に難病を抱えた妹がいるという噂をきく。その 時枝くんの家まで行ったことがきっかけで、冬 真と時枝くんは仲良くなっていくが…。
<b>暁 星</b>	<b>湊 かなえ</b>	夜明け前が一番暗い。だが必ず日は昇る。そ こには輝く星がある。文部科学大臣刺殺事件 の犯人による手記が語る真実。
<b>アフター・ユー</b>	<b>一穂 ミチ</b>	遠い地で、見知らぬ男と海に消えた恋人。互 いに秘密を抱えながら暮らした男女に訪れた 突然の別れ。一緒に過ごした10年間は嘘 だったのか？
<b>今日も私は、ひとつの菓子を</b>	<b>高田 充</b>	「いったいあんたはんは誰のために、何のため に菓子をこしらえたはるんや」。「求む、菓子職 人」の貼紙をきっかけに、京都島原の有名和 菓子店で修業を始めた雄司は、職人として成 長していく。
<b>最後の一色 上</b>	<b>和田 竜</b>	「信長か。珍しゅうもない。ざらにいる男よ」織 田信長による天下布武の軍団が日本全土を 侵略していくなか、その怪物は戦場にあらわ れた。名を丹後の守護大名、一色義員(いっ しきよしかず)の嫡男・五郎と言った。
<b>最後の一色 下</b>	<b>和田 竜</b>	味方にも秘策を明かさぬ一色五郎が進もうと する先は、果たして織田家の壊滅か、一族の 破滅か。戦国時代最後の怪物が覚醒する。